

地域発 元気印!



飯田 治療の基本は薬です。抗てんかん薬は現在、20種類以上あります。2006年以降、新しい薬

医療鼎談 てんかんを生きる

地域に理解を広げよう



飯田 幸治さん
広島大病院てんかんセンター長

てんかんは、どんな病気ですか。

飯田 大脳の神経細胞が異常に興奮し、突発的な発作を繰り返して起こす慢性疾患です。全国に約100万人の患者さんがいるといわれています。発症率が高い年齢層は、3歳未満の幼児と70歳以上の高齢者です。胎児の時に脳の神経系に異常が起きて発症するケースや脳挫傷、脳卒中などがきっかけで起こる場合など原因は多岐にわたります。発作の症状も多様で、小児にはひきつけやけいれんが多く、高齢の患者さんには、急にぼんやりとする意識消失がよく見られます。

三上さんは、どんな病状でしたか。

三上 私は9歳の時、階段から

落ちて頭を打ったのが原因で発症しました。その後は発作がなくなり、学生時代にはソフトボールに打ち込むなど活発に過ごしました。

高校を卒業後は、地元の島根から出て広島で就職し、結婚。家族や親戚、同僚の理解とサポートのおかげで子育てと事務職の仕事を両立させてきました。発作は多い時で1日に2、3回あり、薬を服用してもなかなかコントロールできませんでしたが、周囲の皆さんの理解があったからこそ、乗り越えられました。

地域医療では、どう取り組んでいますか。

平松 かかりつけ医（開業医）の役割が大切です。発作を起こした患者さんが最初に診察を受ける医療機関は、小児科をはじめ神経内科や脳神経外科などさまざまです。また、てんかんの専門医は広島県全体に15人しかおらず、てんかんの知識や経験が豊富な医師が非常に少ない地域もあります。広島県医師会では研修会などを開いて、かかりつけ医の診断力の向上を支援しています。

治療法は急速に進歩していますね。

飯田 治療の基本は薬です。抗てんかん薬は現在、20種類以上あります。2006年以降、新しい薬

てんかんは日本人の100人に1人が患っているとされ、誰もが発症する可能性のある脳の病気です。治療法が急速に進歩している一方で、てんかんに対する理解は必ずしも十分とはいえません。患者さんやその家族が安心して暮らしている社会を築くために、何が求められるのか専門医、地域医療の関係者、当事者の3人が話し合いました。

（コーディネーターは広島大副理事・山内雅弥さん）



三上千香さん
日本てんかん協会広島支部

中心となり、地域診療のネットワークづくりを力を入れてきました。

現在では、広島県の診療連携体制などを学ぶために、他の地域からの視察も相次いでいます。

地域社会や市民への啓発活動

飯田 広島では診療体制の構築

だけでなく、てんかんという病気にに対する理解を広げるための活動にも取り組んでいます。最新治療法などを知ってもらうための「市民フォーラム」を毎年開き、今年で10回目になります。また、サンフレッチェ広島ともコラボし、毎年3月には、エディオスタジアム（安佐南区）にブースを設け、チラシやグッズなどを配布しています。

三上 最新の手術や患者さんへ

診療ネットワークに力 病気の情報発信したい 開業医の診断力向上を

飯田さん
三上さん

平松さん

なれなかったらどう思います。

のサポートに関する情報が得られなくて、悩みを解消できない患者さんも多いのではないのでしょうか。

平松 てんかんの患者さんを診療する医療機関は、最初に診る1次診療（かかりつけ医）と2次診療（広島県内の中核病院、外科治療もできる3次診療（てんかんセンター）に分けられます。3者が連携して協力し、患者さんに適切な治療やケアをする体制を整えています。

私も病気についてもっと発信し、少しでも不安を減らすお手伝いができたらいいなと思っています。

ありがとうございます。

飯田 広島県は、厚生労働省が15年にモデル事業としてスタートさせた「てんかん地域診療連携体制整備事業」に採択され、てんかんセンターを置く広島大病院（広島市南区）も「てんかん診療拠点機関」に指定されました。広島大病院が

ありがとうございました。

広島県医師会 会長

平松 恵一さん



11月17日に市民フォーラム2019

「てんかんを考える」

はがき 〒730-0854 広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル3F
メディア中国医療セミナーチーム
「てんかんセミナー」係
FAX 082-232-7977
電子メール event-2@media-chugoku.jp

問い合わせ 082-236-2860
（土日祝除く9:30～17:30）
郵便番号、住所、名前、年齢、電話番号、参加人数、てんかんに関する質問（あれば）を明記してください。
※質問は講演や質疑応答の参考にさせていただきます。

※個人情報、は、聴講券の発送と、抽選にもれた方への通知（応募多数の場合）のために利用し、メディア中国が責任を持って管理します。